

科目区分・分類	専門・実習	対象学科名・学年	環境都市5年	科目コード	59501586
科目名	建築設計製図 Design & Drawing of Architecture				
担当教員	西川 嘉雄				
単位数(時間数)	必修 前期 1単位 (30時間)	学習・教育目標との対応	(D-1)(D-2)		
授業の目的と概要	RC造住宅系複合建築の設計を通して、建築設計の過程、製図の習得の他に自分のプランの特徴を相手に伝えるプレゼンテーションの方法を習得し、2級建築士に合格できる能力を養う。				
先修科目	建築計画, 設計製図, 建築設計製図				
後修科目					
備考	建築計画と建築設計製図の基礎が身についていること				
	授業項目	時間	内容		
1	住居系複合建築の設計1	2	RC造住居系複合建築物の課題の内容を理解し必要な資料を収集できるが設計できる。		
2	エスキス	2	設計課題の条件にあった設計主旨・必要諸室・機能を検討し、エスキスを行う。		
3	エスキスのチェックと再検討	4	設計主旨を説明し、エスキスチェックを受ける。再度エスキスを行い最良のプランをまとめる。		
4	住居系複合建築の設計2	2	RC造の作図方法を理解し説明できる。		
5	平面図の作成	4	各室の機能を理解し平面図を作図できる。		
6	立面図の作成	4	立体的に建物をとらえ立面図を作図できる。		
7	断面図の作成	4	適切な位置の断面図を作図できる。		
8	住居系複合建築の設計3/パース・模型の作成	6	設計図をもとにパース・模型を作成することができる。		
9	住居系複合建築の設計4/プレゼンテーション	2	作成した図面と模型を使って設計主旨や建物の特徴を相手に伝えることができる。		
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	建築設計製図に関する基本的事項を理解し、それに基づいて作図ができる。RC造の住宅系複合建築に必要な機能を満たすような設計ができること。作成した図面・パース・模型を使ってプレゼンテーションし設計主旨をつ垂れることができること。以上の内容を総合して評価し、学習・教育目標のD-1及びD-2の達成とする。				

成績評価	図面とパースとプレゼンの完成度で評価する。ただし図面（RC造住居系建築物の平面図，立面図，断面図，パース・模型）の重みは80%で，プレゼンの重みは20%とする。また，完成度の低いものは教員の判断により，再提出してもらった場合がある。以上の課題の合計100点満点でD-1及びD-2を評価し，合計の6割以上を獲得した者をこの科目の合格者とする。
教材	参考書：櫻井良明編「建築製図基本の基本」学芸出版社 大庭孝雄他「建築設計製図」実教出版 内藤和彦編著「設計に生かす建築計画」学芸出版 日本建築学会編 コンパクト設計資料集成 尾上孝一著「図解・鉄筋コンクリート造建築入門」井上書店
オフィスアワー	毎週水曜日16:00～17:00，環境都市工学科，西川教員室。